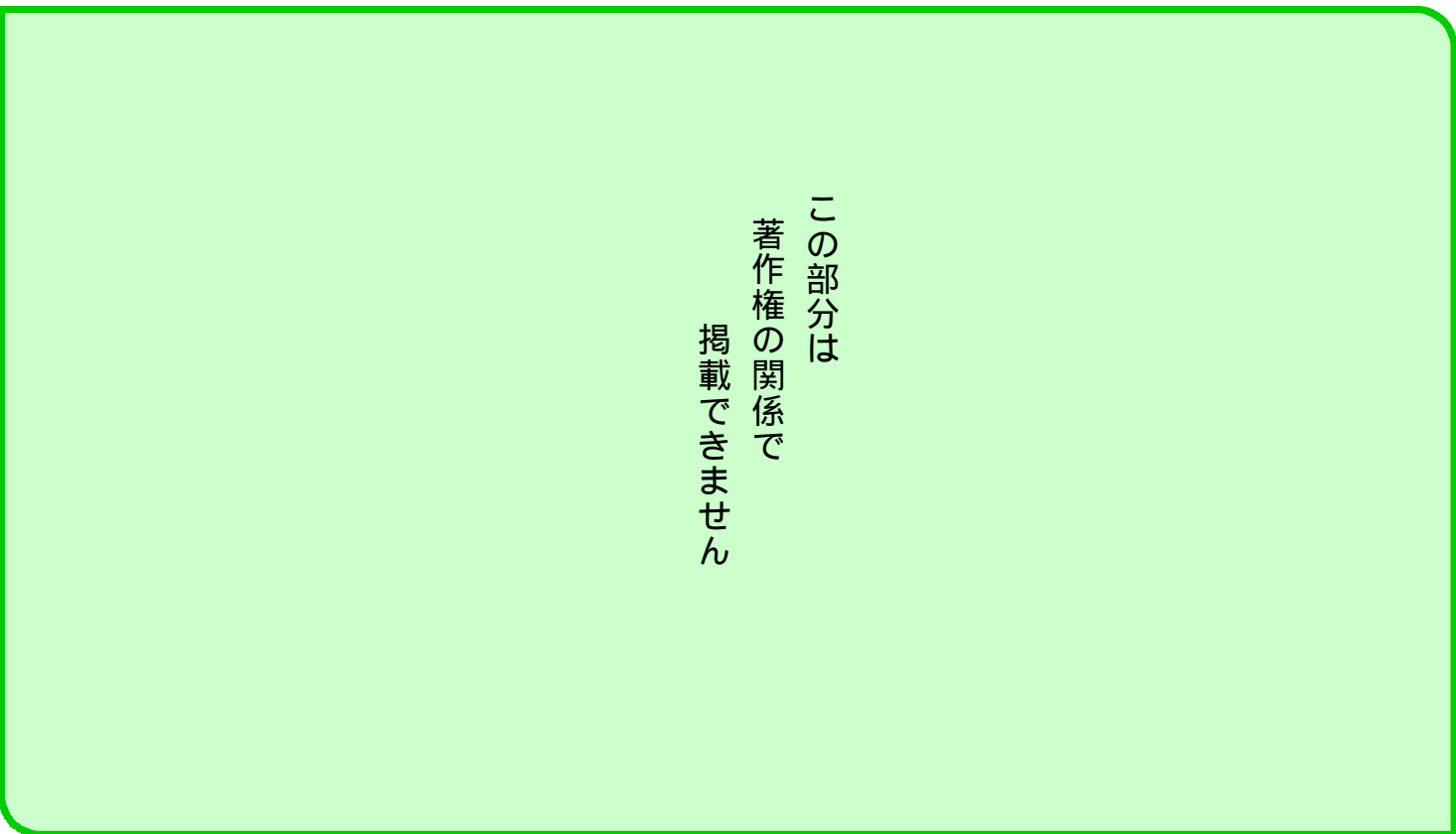


番	号

五 次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。



問1 — 線 「それ」とありますが、どのような内容ですか。詩の中のことばを用いて、考えて書きなさい。

問2 — 線 「手のひら」とはどのようなことをたとえていますか。詩の中のことばを用いて十字以内で書きなさい。

問3 には体の一部を表すことばが入ります。あてはまることばを漢字一字で書きなさい。

問4 — 線 「ちょっとのこと」と同じような意味で用いられている別のことばを、詩の中から一つぬき出して書きなさい。

問5 ~~~~~線部「なぜだろう」とありますが、その答えとしてふさわしいものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。
ア 山の頂上から広い世界をながめていると、自分がいかにちっぽけな人間であるかに気づき、日々の生活で夢中になっていたことがばかしくなっているから。
イ 山の頂上から広い世界をながめて山から降りると、達成感にあふれ、登山をやりとげたことで自信がつき、何でもできそうな明るい気持ちになっているから。

ウ 山の頂上から広い世界をながめていると、自分が知る世界のせまさに気づき、多少のことには動じない、晴れやかで大きな心持ちになっているから。

エ 山の頂上から広い世界をながめて山から降りると、頂上で見た世界が身近なものに感じられ、どっしりと構えて自分中心に生きよつと思っているから。